

川上ダム通信

2013
12
月号



Vol. 99
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518 - 0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL : 0595 - 52 - 1661(代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



伊賀市議会が意見書提出



藤田関西支社長に意見書を提出する空森議長（写真左）

11月5日（火）伊賀市議会の空森栄幸議長、中岡久徳産業建設常任委員会委員長が水資源機構関西支社を訪れ、9月議会で議決された水資源機構理事長宛の川上ダム建設事業の推進に関する意見書を藤田支社長に提出されました。

意見書では、「川上ダムの建設は、治水対策と伊賀水道用水の安定供給を図るため絶対必要」とされた上で、「川上ダム事業の検証を速やかに終了させ、早期完成いただきますよう切にお願いする」とされています。

伊賀市議会は、同じ内容の意見書を三重県知事、国土交通大臣、財務大臣にも提出されました。また、意見書提出に先立ち、10月21日には、伊賀市議会の22名の議員が参加し、「川上ダムの早期完成を推進する議員連盟」が設立されています。

現在、伊賀市では水道計画の見直しを検討されており、その結果を踏まえてダム検証を進める必要がありますが、川上ダムとしては、地元伊賀市議会からの意見書を重く受け止め、これまで以上に速やかに、かつ、予断なくダム検証を進めていかなければならないと考えております。

地方自治法第99条に「普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる」とあります。意見書とは、この規定に基づき議会の議決を経て提出されるものです。

【調査設計課長 松村貴義】

付替県道青美線貯水池横断橋工事

横断橋工事の進捗状況をご報告します。

10月末までに壁高欄の施工が完了し、11月16日～20日にかけて舗装を施工しました。

これで、本工事の作業が全て完了しました。

来月号では、平成22年12月から約3年という長い年月をかけてようやく完成した付替県道青美線貯水池横断橋（猫また大橋）の様子を写真の経過と共に伝えします。



寒い中での舗装作業



【工事課 廣瀬早苗】

子供達に石琴が大人気！ ～桐ヶ丘フェスタ2013～

11月9日（土）、桐ヶ丘地区市民センターにおいて、「桐ヶ丘フェスタ2013（第8回）」が開催されました。

当日は、心地よい秋晴れのもと、朝市やフリーマーケット、青山中学校吹奏楽部による演奏や桐ヶ丘音頭等のアトラクションが次々に行われ、会場全体は大変賑わっていました。

当建設所では、ダムの役割、環境保全の取組み、付替県道の工事の状況や台風18号による出水の状況等のパネルの他、ダムに関するDVDの放映や川上ダムの仮排水路トンネル工事の過程で岩盤から棒状に掘り出した岩片で制作した「石琴」を展示しました。



賑わう石琴コーナー

ブース内に展示したパネルを見ていただいた方からは、付替県道工事の進捗状況や川上ダムがあった場合の治水効果等について熱心にご質問をいただきました。

また、「石琴」は珍しかったのか、子供達に大人気でした。

イベントを通して地域の方々と交流する機会を提供していただいた主催者の皆様に厚く御礼申し上げます。

【第二用地課 小野博司】

クイズに挑戦 ～第9回ふれあいフェスタin青山～

11月10日(日)に「第9回ふれあいフェスタin青山」が、伊賀市青山支所周辺を会場に開催されました。当日は、天候が心配されましたが、イベント開催中は雨に降られることはなく、地元農産物の販売やチェーンソーアート、和太鼓演奏等が行われ大変な賑わいとなりました。

当建設所では、ダム役割、環境保全の取り組み等のパネル展示やそれに因んだクイズを行うブースを出展しました。

ブースには多くの家族連れが訪れ、クイズに一生懸命挑戦していました。クイズは、パネルを見れば答えが分かるようになっており、パネルに隠れている答えを探しながらダム役割やオオサンショウウオの生態などを楽しく学習してもらえたと感じました。

また、台風18号による出水状況のパネルの前には多くの方が立ち寄り、「早く川上ダムを造って欲しい」という意見を多数の方からいただき、来場者の方々の関心の高さを感じました。

イベントを通して地域の方々と交流する機会を提供していただいた主催者の皆様に厚く御礼申し上げます。

【工務課 砂野洋一】



クイズに挑戦中

職員の知識向上のために ～環境学習会を開催～

10月16日(水)、川上ダム建設所では職員等を対象に環境学習会を実施しました。

これは、川上ダム通信6月号でも紹介しました「基本知識学習会」のうち“環境”をテーマとして行ったものです。

室内の勉強会では、平成21年7月に策定した「川上ダム建設事業における環境保全への取り組み」の内容や、この地域にも生息が確認されている国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの調査状況等を学習しました。

引き続き現地(オオサンショウウオ保護池)では、オオサンショウウオの観察を行いました。

今回の学習会を通じて、川上ダム事業における「環境保全」や「オオサンショウウオ」について、改めて確認ができたと思います。

このような学習会を重ねることで、地元の方への川上ダムに関する的確な情報発信に繋がればと感じています。

「川上ダム建設事業における環境保全への取り組み」は川上ダムホームページでもご覧いただけます。



現地での学習会の状況

【環境課 飯島芳則】

今月の環境用語集はお休みします。

青山小学校4年生からお礼の手紙が届きました！

11月号に“青山小学校4年生による「水の調査隊」を実施！”を掲載いたしました。児童のみなさんから、可愛いお礼の手紙が届きましたので、いくつかご紹介いたします。

貝増真希さん

工事中とか、出来た後は水がいっぱいトンネルに流れていて、もう二度と入れないと聞いたときは、びっくりしてちょっと悲しかったです。違う学年が行くか分からないけど、行ったら川上ダムがどうなっていたかを見てきてほしいです。4年生が川上ダムに行けて良かったです。(うれしかった)また家族で行けるなら行きたいです。とっても楽しかったです。

橋本望結さん

ダムの見学でトンネルを通させてもらって、私は「こんな貴重な体験をさせてもらうことはすごいな」と思いました。ダムが出来るともうトンネルは通れなくなるのを知りました。本当にありがとうございました。オオサンショウウオは前足の指が4本、後ろ足の指が5本ということが分かってビックリしました。オスとメスはプロの人でも分からないと言っていたのでビックリしました。オオサンショウウオの目がすごく小さくてビックリしました。オオサンショウウオとダムのことが分かって良かったです。

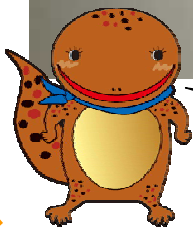
重藤慎之介さん

いろいろな勉強ができたのですごく良かったです。川上川の近くに色々な生き物がいるのは、ここら辺の自然が良くてキレイなところだからだと思います。これからも水を大切に使い、川にゴミなどを捨てないようにしたいです。

全てを紹介することは出来ませんが、4年生74名全員からお手紙を頂きありがとうございました。この様な学習する機会を設けていただいた先生方に感謝いたします。



頂いたお礼の手紙



みんなからのお手紙ありがとう。とっても嬉しかったよ！今回ご紹介したお友達は、お父さんお母さん、小学校の許可を頂き掲載しました。

【総務課長 梅村喜重】

イベントのお知らせ

栢屋(くぬぎや)・きのこまつり

開催日：12月1日(日)
開催場所：温泉農産物直売所「栢屋」前
お問い合わせ：さるびの温泉
TEL：0120-46-0268

クリスマスキャンドルナイトときめきライトアップ

開催日：12月22日(日)
開催場所：壺蛇滝周辺広場
お問い合わせ：赤目四十八滝渓谷保勝会
TEL：0595-63-3004

編集後記

先に紹介しました青山小学校児童のお礼の手紙に、「ぼくの1つ目のゆめは、ゲームをつくることですが、2つ目のゆめは、川上ダムではたらくことだときまりました。」という宣言がありました。2つ目の夢については、編集長以下大変うれしく思っています。夢を叶えられるよう、これから頑張ってください。

今年も、川上ダム通信をご愛読いただき、ありがとうございました。来年も、川上ダム通信を通して、川上ダム建設所の取り組みを地域の皆様に発信していきます。よろしく願いいたします。

【広報誌発行事務局】

編集長	神矢(所長)	
デスク	梅村(総務課長)	田中(工務課長)
記者	湯本(総務課)	渡辺(総務課)
	本山(第一用地課)	高橋(第二用地課)
	遠本(調査設計課)	飯島(環境課)
	廣瀬(工事課)	日隈(工務課)